

— 第17号 —

平成21年1月23日発行

# ちく せい 筑西

# 市議会だより

編集 筑西市議会広報特別委員会 / 発行 筑西市議会



成人式

## 目次

年頭のごあいさつ.....	2ページ
議案説明.....	3ページ
議決一覧表.....	4ページ
人事紹介.....	5ページ
陳情・請願・意見書.....	5ページ
議案質疑.....	5～6ページ
一般質問.....	7～11ページ
議会日誌.....	12ページ
編集後記.....	12ページ

平成20年第4回定例会は、12月3日から12月15日までの13日間の会期で開催されました。

今定例会では、水道料金の改定議案や一般会計補正予算案、条例案など34案件について慎重に審議されました。

■主な内容■

**平成20年第4回定例会**

～一般会計補正予算案など  
34案件を審議～



# 迎春

年頭の  
ごあいさつ



議長 片平 忠行  
中上野 754 (67歳)



副議長 堀江 健一  
玉戸 45 (65歳)

あけましておめでとございます。  
市民の皆様には、輝かしい初春を迎え、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
議会は市長とともに本市を支える二元代表制の一翼を担い、相互に牽制を行うことで、緊張感のある自治の推進を図ろうとしております。  
さて、昨年を顧みますと、当市議会の二つの特別委員会から報告がなされております。  
その一つ「市民病院評価等特別委員会」は、市民病院の今後の経営形態の方向性について「地方公営企業法の全部適用」もしくは「民間移譲」の二つの選択肢を提案いたしました。  
また、もう一つの「財政等健全化調査特別委員会」は、本市の厳しい行財政事情を考慮し、「歳入歳出規模の適正化」、「市税の安定的な確保」、「特別会計等への繰出金の抑制」、「スピカピルの売却」等について提案をいたしました。  
当市議会といたしましても、これら喫緊な課題に的確に対処し、市民生活のさらなる向上を目指し、全力を尽くす所存であります。  
最後に、市民皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、ご多幸を心からご祈念申し上げます、ごあいさついたします。



仁平 正巳  
海老ヶ島 884-1 (55歳)



須藤 茂  
女方 16-7 (57歳)



真次 洋行  
幸町 3-8-17 (58歳)



百目鬼 晋  
甲 817-4 (55歳)



宮崎 勇  
黒子 151 (43歳)



吉原 一利  
桑山 2010 (63歳)



外山 壽彦  
新治 2003-2 (62歳)



水柿 一俊  
内淀 33 (52歳)



尾木 恵子  
女方 965-9 (53歳)



水越 照子  
成田 345-5 (68歳)



金澤 良司  
小栗 7471-4 (66歳)



内田 哲男  
乙 227-26 (64歳)



山口 明  
みどり町 1-1-3 (66歳)



赤城 正徳  
赤浜 694 (66歳)



藤川 寧子  
伊讚美 1317-2 (64歳)



榎戸 甲子夫  
茂田 1411 (60歳)



新井 利平  
西石田 745-1 (70歳)



加茂 幸恵  
一本松 1366-5 (63歳)



鈴木 聡  
樋口 973-5 (64歳)



三浦 譲  
門井 1269-8 (55歳)



關 四郎  
上野 930-1 (76歳)



箱守 茂樹  
小川 1553-6 (63歳)



秋山 恵一  
八田 478 (58歳)

※吉澤範夫議員は  
12月22日をもって  
市議会議員を辞職  
されました。

【議席順】

平成20年第4回定例会  
議案説明

今定例会に上程された議案は次のとおりです。

- 議案第66号は、教育委員会委員の任命につき同意を求めるものです。
- 議案第67号は、市営住宅家賃を長期にわたり滞納している者4人に対し、市営住宅の明け渡し請求等を求めて訴えを提起するものです。
- 議案第68号は、下館地区における道路台帳整備時の誤認定による1路線の廃止、関城地区における鉄道敷及び緑地帯の2路線の廃止並びに協和地区における起点・終点の変更、土地改良に伴う新設道路との重複、未供用道路及び道路台帳整備時の誤認定による7路線の廃止、合計10路線を廃止するものです。
- 議案第69号は、下館地区における開発行為、認定もれ、法定外道路、寄附行為及び道路新設に伴う買収等による8路線の認定、明野地区における開発行為による1路線の認定並びに協和地区における起点・終点の変更、土地改良事業等による4路線の認定、合計13路線を認定するものです。
- 議案第70号は、茨城県筑西土地改良事務所による大川南地区土地改良事業の施行に伴い、倉持、中根及び東石田地

内の字の区域を変更するものです。

- 議案第71号は、筑西広域市町村圏事務組合で処理する、し尿の処理区域を合併後の市の区域に合わせるため、本市の旧協和町地区を加え、桜川市の旧真壁町地区を除くための改正のほか、ふるさと市町村圏基金の処分に関する条項を追加するため、規約の改正をするものです。
- 議案第72号は、筑北環境衛生組合で処理していた本市の旧協和町地区のし尿処理を、筑西広域市町村圏事務組合に移行することに伴い、当市が筑北環境衛生組合を脱退するため規約の改正をするものです。

内について、その対象を県民税と合わせるため改正をするものです。

- 議案第73号は、茨城県後期高齢者医療広域連合の議会議員の定数、選挙方法等を変更するとともに関係市町村の長の代表者で構成する協議組織を設置することに伴い規約の改正をするものです。

○議案第74号は、本市の行政財産における自動販売機等の設置について、その取り扱いを統一するため、行政財産使用料等徴収条例に定額の使用料を定めるほか、指定管理者制度を導入する総合福祉センター条例ほか6本の条例（11の指定管理施設）において、行政財産の目的外使用許可と貸し付けを市長権限で行うことの確認規定等を設けるなど、所要の改正をするものです。

○議案第75号は、本市の寄附金税額控除

- 議案第76号は、筑北環境衛生組合からの脱退に伴い、所要の改正をするものです。
- 議案第77号は、市営住宅入居資格に係る収入限度額の基準額を公営住宅法施行令に定める額とするための改正及び私営住宅駐車場使用料の額を規定するための改正をするものです。

○議案第78号は、水道事業運営審議会の答申に基づき、合併前の旧4市町の区域ごとに定めていた水道料金を統一するための改正をするものです。

○議案第79号は、一般会計補正予算で、歳入歳出にそれぞれ4,736万余円を追加し、総額をそれぞれ352億1,902万余円とするものです。歳出の主なものはいずれも各項目での人件費で2億3,103万余円の減額、身体障害者知的障害者福祉費で生活介護事業費など9,451万余円、国民健康保険特別会計繰出金4,794万余円などです。

○議案第80号は、国民健康保険特別会計補正予算で、主なものはいずれも、一般被保険者高額療養費及び後期高齢者支援負担金の増額並びに介護納付金及び人件費の減額などです。

○議案第81号は、後期高齢者医療特別会計補正予算で、主なものはいずれも後期高齢者医療広域連合共通経費負担金の増額、人件費の減額などです。

○議案第82号は、公共下水道事業特別会計補正予算で、主なものはいずれも、公債費の増額、人件費の減額などです。

○議案第83号は、農業集落排水事業特別会計補正予算で、主なものはいずれも、竹島地区、関城東地区農業集落排水建設事業の確定に伴う減額、下館、関城、明野、協和農業集落排水施設維持管理経費及び農業集落排水事業基金積立金の増額などです。

○議案第84号は、下館結城都市計画事業八丁台土地区画整理事業特別会計補正予算で、主なものはいずれも、水道工事負担金の増額、人件費の減額です。

○議案第85号は、介護保険特別会計補正予算で、主なものはいずれも、介護サービス等給付事業の減額、制度改正に伴う介護保険システム改修の増額及び人件費の減額です。

○議案第86号は、介護サービス事業特別会計補正予算で、主なものはいずれも、一般会計繰出金です。

○議案第87号は、水道事業会計補正予算で、主なものはいずれも受託工事費、企業債利息及び人件費の減額並びに受託工事及び負担金償還金の増額です。

○議案第88号は、健康保険法施行令等の改正に伴い、産科医療保障制度の負担金相当分として出産育児一時金に3万円を追加するための改正をするものです。



## 平成20年第4回定例会議決一覧表

事件の番号	件名	議決月日	議決結果
選挙第4号	県西総合病院組合議会議員の補欠選挙について	12. 3	当選人決定
報告第26号	処分事件報告について(和解に関すること及び損害賠償の額を定めることについて)	12. 3	承認
報告第27号	処分事件報告について(和解に関すること及び損害賠償の額を定めることについて)	12. 3	承認
報告第28号	処分事件報告について(平成20年度筑西市一般会計補正予算(第3号))	12. 3	承認
報告第29号	処分事件報告について(平成20年度筑西市国民健康保険特別会計補正予算(第2号))	12. 3	承認
議案第66号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	12. 3	同意
議案第67号	訴訟の提起について	12.15	原案可決
議案第68号	市道路線の廃止について	12.15	原案可決
議案第69号	市道路線の認定について	12.15	原案可決
議案第70号	字の区域の変更について	12.15	原案可決
議案第71号	筑西広域市町村圏事務組合同規約の変更について	12.15	原案可決
議案第72号	筑北環境衛生組合同規約の変更について	12.15	原案可決
議案第73号	茨城県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	12.15	原案可決
議案第74号	筑西市行政財産使用料等徴収条例等の一部改正について	12.15	原案可決
議案第75号	筑西市税条例の一部改正について	12.15	原案可決
議案第76号	筑西市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正について	12.15	原案可決
議案第77号	筑西市営住宅管理条例の一部改正について	12.15	原案可決
議案第78号	筑西市水道事業給水条例の一部改正について	12.15	原案可決
議案第79号	平成20年度筑西市一般会計補正予算(第4号)	12.15	原案可決
議案第80号	平成20年度筑西市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	12.15	原案可決
議案第81号	平成20年度筑西市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	12.15	原案可決
議案第82号	平成20年度筑西市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	12.15	原案可決
議案第83号	平成20年度筑西市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	12.15	原案可決
議案第84号	平成20年度筑西市下館結城都市計画事業八丁台土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	12.15	原案可決
議案第85号	平成20年度筑西市介護保険特別会計補正予算(第2号)	12.15	原案可決
議案第86号	平成20年度筑西市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	12.15	原案可決
議案第87号	平成20年度筑西市水道事業会計補正予算(第1号)	12.15	原案可決
議案第88号	筑西市国民健康保険条例の一部改正について	12.15	原案可決
請願第3号	歴史民俗資料室の開設に関する請願	12.15	採択
陳情第1号	「地域の県立高校の存続と、30人以下学級実現でゆきとどいた教育を求める意見書提出」に関する陳情	12.15	採択
陳情第3号	現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める陳情	12.15	採択
議員提出議案第9号	地域の県立高校の存続と、30人以下学級実現でゆきとどいた教育を求める意見書(案)の提出について	12.15	原案可決
議員提出議案第10号	現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書(案)の提出について	12.15	原案可決
議員提出議案第11号	J R不採用問題の早期解決を求める意見書(案)の提出について	12.15	原案可決
議員提出議案第12号	地方議会議員年金制度に関する意見書(案)の提出について	12.15	原案可決

# 議案質疑

全議案に対する質疑は、12月10日に行われ、4人の議員が17項目に及び質疑をしました。その主なものは次のとおりです。

## 県西総合病院の筑西市民の利用状況と本市からの負担金について

**質疑** 県西総合病院に対する負担金の金額と、同病院を利用する本市の外来及び入院患者数はどのくらいか。また、公立病院の使命について尋ねたい。

**答弁** 【健康増進部長】 県西総合病院の構成市は本市と桜川市であり、19年度の負担金は、桜川市が2億3,759万余円、本市が6,834万余円、20年度は、桜川市3億2,541万余円、本市9,672万余円である。筑西市民の同病院の利用状況については、18年度入院患者数が10,101人、外来患者数が18,470人（明野・協和地区のみ）、19年度入院患者数が7,494人、外来患者数が17,434人である。また、公立病院の役割は地域に必要な医療のうち、採算性等か

ら民間医療機関では提供が困難な医療を提供することと考える。そのため、市民病院への補助金や出資金、県西総合病院へは負担金を支出し、地域医療の充実に努力しているのご理解賜りたい。

## 電算システムの改修について

**質疑** 今回法律の改正に伴い市税・国民健康保険及び介護保険事業でも電算システムの改修が必要となり、約6千万円の委託料が予定されている。本市の電算システムは市独自のシステムで改修費が割高である。これらの改修に伴う交付税措置額及び市の負担額を尋ねたい。また、他市との費用の比較を尋ねたい。

**答弁** 【税務部長】 税務関連のシステム改修の見積額と財源について、住民税金特別徴収に係る収納システム改修費1、

## 人事紹介

### 県西総合病院組合議会 議員の補欠選挙

県西総合病院組合議会議員に1名の欠員が生じ、補欠選挙の結果、次の議員が当選されました。

仁 平 正 巳 議員

### 教育委員会委員の任命に同意

筑西市教育委員会委員のうち1名が欠員となったため、次の方の任命に同意しました。

豊 崎 功（新任）

昭和16年5月21日生

筑西市みどり町一丁目13番2

## 陳情

次の陳情は、12月定例会までに受け付けたものです。なお、継続審査になつていた陳情第1号及び意見書の提出を求められている陳情第3号は、関係常任委員会において慎重に審査を行い、12月15日の本会議で次のとおり議決されました。

▲陳情第1号 「地域の県立高校の存続と、30人以下学級実現でゆきとどいた教育を求める意見

書提出」に関する陳情（採択）  
▲陳情第3号 現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求め陳情（採択）

## 請願

今定例会に上程された請願1件は、関係常任委員会において慎重に審査を行い、12月15日の本会議で次のとおり議決されました。

▲請願第3号 歴史民俗資料室の開設に関する請願（採択）

## 意見書

議員提出による意見書案4件は、12月15日の本会議において原案のとおり可決されました。この意見書は、同日付で政府及び関係機関に送付されました。

▲地域の県立高校の存続と、30人以下学級実現でゆきとどいた教育を求める意見書

▲現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書

▲JR不採用問題の早期解決を求める意見書

▲地方議会議員年金制度に関する意見書

230万円、寄附金税制改正に伴う市民税システム改修費981万余円及び法人市民税改正に伴う市民税システム改修費289万余円は通常の税制改正のため一般財源である。また、住民税公的年金特別徴収に係る市民税システム改修費1,430万円(20年度2,550万円)は2力年の継続事業で、うち交付税算入額は標準団体(3万9千世帯)で2,200万円の予定である。他市との比較については、システムの形態が県内市町村で異なり、単純な比較は難しい。茨城計算センターを利用している市町村は約73%で、費用は168万円から580万円である。富士通システムを導入しているのは県内では本市と龍ヶ崎市のみである。契約の段階で経費節減に努力していくのでご理解賜りたい。

【健康増進部長】 国保関連について、高齢受給者(70〜75歳未満)の自己負担割合の緩和措置の延長(2割負担者が暫定的に1年間1割負担となる期間の更なる1年間延長)と、後期高齢者医療保険移行時における高額療養費の負担限度額改正に伴うシステム改修費208万余円は、大半がシステムエンジニアの人件費であり、財源については全額国庫補助の予定で

ある。他市との比較については、下妻市・結城市は無料、桜川市は約60万円、龍ヶ崎市は本市とほぼ同額、牛久市は325万円である。契約に当たっては、できる限り経費の圧縮に努めるのでご理解賜りたい。

【福祉部長】 介護保険関連は、介護保険システム改修費2,614万余円と賦課徴収システム改修費618万余円である。前者は大半がシステムエンジニアの人件費で、残りがパッケージソフトのバージョンアップ代である。後者は併徴者期割変更対応費と仮徴収変更処理仕様変更作業費である。財源は、パッケージソフトのバージョンアップ代のみ国庫補助が30万円、残りが一般財源である。他市との比較については、結城市44万円、下妻市63万円、桜川市57万余円、本市と同じ富士通対応の龍ヶ崎市は、2,900万円である。契約の締結に当たっては、安価になるよう努力するのでご理解賜りたい。

質疑

水道事業は、毎年多額の工事を実施しているが、給水人口と有収水量が伸びない。給水人口と有収水量をふやす具体的な

給水人口及び有収水量をふやす方法と少量使用家庭の見直しは怎么样了か

方法を尋ねたい。今回の水道料金の改定では、基本水量10㎡以下(少量使用家庭)の改定は実施されなかった。見直すとのことだったが、どうなったのか尋ねたい。

答弁

【上下水道部長】 給水人口が伸びない理由は、本市の場合給水世帯は増加しているが、世帯当たりの人口が減少しているためと思われる。有収水量が伸びない理由は、住民の節水意識や給水人口の鈍化、地下水利用者が多い等が考えられる。現在の水道普及率は約89%であり、給水区域の拡

大や有収水量の増加を図ってみたい。また、少量使用家庭に対する料金の見直しについては、基本料金は水道を常時使用可能とするための経費で、水の使用量にかかわらず使用者に負担していただくものである。基本料金を下げた場合、その下げた部分が超過使用者(10㎡以上の使用者)の負担となり、かつ、単年度黒字の確保や累積欠損金の解消が不可能となるため、今回は改正できなかったものでありご理解賜りたい。

新・水道料金 (平成21年4月1日施行)

給水装置	給水管の口径	基本料金(月)	超過料金			
			11㎡から20㎡まで	21㎡から50㎡まで	51㎡から100㎡まで	101㎡以上
専用 共用	13mm	10㎡まで 1,890円	1㎡につき 220.5円	1㎡につき 231円	1㎡につき 241.5円	1㎡につき 252円
	20mm	10㎡まで 1,995円	1㎡につき 220.5円	1㎡につき 231円	1㎡につき 241.5円	1㎡につき 252円
	25mm	10㎡まで 2,100円	1㎡につき 220.5円	1㎡につき 231円	1㎡につき 241.5円	1㎡につき 252円
	30mm	20㎡まで 4,620円		1㎡につき 231円	1㎡につき 241.5円	1㎡につき 252円
	40mm	20㎡まで 4,830円		1㎡につき 231円	1㎡につき 241.5円	1㎡につき 252円
	50mm	50㎡まで 12,600円			1㎡につき 241.5円	1㎡につき 252円
	75mm以上	50㎡まで 13,125円			1㎡につき 241.5円	1㎡につき 252円
特別(一時使用・プール・水まき)		1㎡につき 220.5円				
特別(公衆浴場)		100㎡まで 8,001円	1㎡につき 94.5円			



# 一 般 質 問

市政全般の問題をただす一般質問は、12月5日、8日、9日に行われ、14人の議員が84項目に及ぶ質問をしました。その主なものは次のとおりです。

## 今後の市のかじ取りについて 市長の現在の心境は

**質問** 【水越議員】市長は、行政の各分野において数々の実績を重ね、4市町の合併後も行政改革に成果を上げ、制度の統一や一体感の醸成に献身的に努力されている。しかし、超少子高齢化社会を迎える中、地域医療の確保、中心市街地の再生、交流人口や道路行政の問題、小中学校の耐震化や統廃合の問題など、まだまだ解決すべき問題が山積している。市長の人柄と行政手腕に期待する市民の思いを受け入れ、引き続き本市のかじ取りをお願いしたいと切望するが、現在の心境を伺いたい。

**答弁** 【市長】12年間の県議会議員生活の後、下館市長、筑西市の初代市長を仰せつかり、今日にいたっている。この間、皆様方とともにいろいろな種をまいてき

たことも事実であり、心から感謝している。本市では、市民病院の問題を初め、行財政全般にわたり、まだまだ未解決の難問が多く、市民の皆様から「何とかしてほしい」という声が直接届くようになってきている。今後のことについては、できるだけ多くの市民の皆様、後援会の皆様方のご意見等を伺いながら前向きに考えてまいりたい。



市役所本庁舎

## 市民病院の今後を問う

**質問** 【須藤議員】①全国の自治体病院の状況はどのも厳しい。市がどのような地域医療を目指すか、理念が大切であり、市民病院を民間移譲とした場合も、市民の意見を聞き、項目に入れてほしい。私は公設民営を訴えてきたが、地方公営企業法の全部適用については、市民病院の職員はその意味をどれくらい理解していたか。また、民間移譲先の公募について、現在の状況は。②民間移譲について、市長が今後も責任を持つのか伺いたい。

**答弁** 【市民病院事務部長】①経営形態の内容について、職員は危機感を持ち長年話題としており、十分理解していると考え、民間移譲については、今後移譲の条件、公募方法等について、副市長を中心としたプロジェクトチームで、早急にまとめてまいりたい。

**【市長】**①平成19年度には11億円（1日300万円）、20年度予算で7億7千万円を一般会計から市民病院に補助しており、「これをどうするか」という市民の声ももちろん受け止めねばならない。移譲先は公募という形で募集し、詳細

を決めてまいりたい。②将来の市民の負担をできるだけ軽くし、今後も地域医療を絶対に確保していくという考えであり、十二分に責任を感じている。

## 市民病院の民間移譲で 地域医療はどうなるか

**質問** 【加茂議員】市民病院の民間移譲について尋ねたい。①

本市は医療過疎状態と言われ、自治医大や芳賀日赤に救急医療を頼っている状態だが、民間移譲でこれが改善されるのか。②医師確保を最優先課題としてきたというが、万策尽きて民間移譲の結論を出したということか。③民間移譲の結論を出す前に、市民病院の医師や職員、患者、医師会等の関係者への説明はどうだったか。④医師や職員の身分はどうなるのか。

**答弁** 【市民病院事務部長】①市民病院以上の医療提供と、より一層地域医療に貢献できるように医療機関にお任せしたい。②今



市民病院

回の結論を出した最大の要因は医師確保にあるが、まだ期間もあり、今後も医師確保に努力してまいりたい。③職員や患者様には早急に説明し、医師会や大学とは今後連携を図れるよう説明・交渉をしてまいりたい。

【市長】 民営化については、一般会計からの多額の補助や、改革ガイドラインにより19床以下の診療所になる前に方向転換し、民間の力をかりても医療過疎を解消したいということを出した結論であり、ご理解賜りたい。④今後、民間病院について勉強しながら、医師・看護師には一体となつて地域医療を守っていただきたいと考える。



市民病院待合室

### 定額給付金の支給は どう実施されるか

#### 質問

【仁平議員】 先般発表された政府与党による追加経済対策として盛り込まれた定額給付金は、1人当たり1万2千円で、18歳以下と65歳以上の方は8千円を

加算し、所得制限は市町村に判断をゆだね、1,800万円を下限とするガイドラインを示すにとどまっている。本市では、所得制限を世帯主のみの所得を基準とするのか、世帯全体の合計額とするのか。また、高額所得者にはどのように辞退を求め、支給はいつどのような形で行うのか。さらに、高額所得者は全体の何%か。



#### 答弁

【総務部長】 総務省のたたき台によると、所得制限は設けないことを基本とし、実質的には全世帯支給となるが、希望する市町村は高額所得者に給付しないこともできるとされている。この方式をとれば、世帯合計でなく、対象者個人に平成21年の所得を提示し、基準以上の場合には返還するという事前承諾を得ることを定めている。また、所得制限の目安額に関係なく、任意の辞退の呼びかけは市町村の自由としている。しかし、現段階では、所得制限や給付方法等は決定していない。給付額は、本市全体で約17億

円で、平成19年の1,800万円以上の所得者は196名、金額は235万余円で全支給額の0.14%である。

### 新型インフルエンザに対する 行動計画は

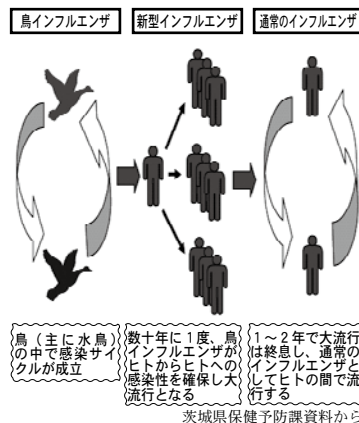
#### 質問

【百目鬼議員】 今、新聞やテレビ等で新型インフルエンザが大きく報道され、話題になっている。この新型インフルエンザによって最大64万人が死亡すると予想され、県内の小中学校・高校では、1人でも発症した場合、全校1週間程度の休校という案も出ている。また、牛久市では、すでに新型インフルエンザ対策行動計画が策定されている。本市でも職員の研修会を行ったと聞くが、この行動計画については、どの程度まで進んでいるか尋ねたい。

#### 答弁

【健康増進部長】 新型インフルエンザに関し、本市では、筑西保健所が主催する鳥・新型インフルエンザ連絡調整会議に参加し、各機関の取り組みや問題点、役割分担と連携のあり方について意見交換している。現在、行動計画やマニュアルの作成は未着手であるが、今後も全職員に対し、研修会により周知と理解を得てまいりたい。その上で庁内体制とし

て、各部署の協力により、計画素案の検討・作成に入つてまいりたい。庁外体制については、庁内で作成した素案をもとに保健所や医師会、市民関係団体で組織する策定委員会等で検討いただき、計画書としての成果を得てまいりたい。



新型インフルエンザとは

### 救急医療体制と 市民病院のあり方について

#### 質問

【鈴木議員】 筑西・下妻圏域には救命救急センターがなく、平成17年は、本市から自治医大に年間2,380人の救急患者が搬送された。市では夜間・休日1次救急診療所を開設したが、今なお、自治医大に搬送される救急患者は2千人以上いるという。市内の救急病院はベッドが満床で、拒否率が半分近くになり、自治医大に集中することだ。2次救急医療、3次救急医療体制の問題からも、市民病院を自主再建すべ



きだったのではないかと。

**【答弁】**

**【健康増進部長】**

2次救急医療については、筑西広域において、病院群輪番制事業に取り組んでいるが、医師不足等により、救急医療が困難になってきている。今後も円滑な運営をお願いしてまいりたい。3次救急医療については、筑波メディカルセンター病院が救命救急センターとなっている。また、県の保健医療計画において、救命救急センターが設置されていない保健医療圏ごとに「地域救命センター」を設置することあり、早期実現を要望してまいりたい。救急医療体制は、本市だけで解決できる課題ではなく、引き続き県及び関係機関をお願いしてまいりたい。



本市の救急患者が多く搬送される自治医科大学附属病院

**学校給食の安全性と給食費問題の解決は**

**【質問】**

**【三浦議員】** 中国産の冷凍ギョーザや輸入米の汚染問

題で、本市の給食についての報道もあつた。従来どのようにチェックし、今後どのようにしていくのか尋ねたい。食育の一環として、食材は目に見えるところで生産され、加工されるのが望ましい。そのため予算について、どのように考えるか。また、給食費の問題は、弁当を持参するなど、大きな問題を残した。学校教育法でも食育重視の改正を行っており、市は給食も教育の一環として、安易な値上げではなく、必要な予算をつけるべきではないか。

**【答弁】**

**【教育次長】** 米飯は、(財)茨城

県学校給食会から弁当方式で購入しており、日本穀物検定協会が検査をしている。生鮮食品は、地元の業者から調達し、栄養士が品質を確認している。中国産の食材は、冷凍ギョーザ事件後購入していないが、食の調達と安全性について、一層の注意を払ってまいりたい。給食費は、学校給食法により、施設・設備に要する経費・



学校給食センター

**県営野球場の移築に力を**

**【質問】**

**【榎戸議員】** 前定例会での答

弁では、以前本市・結城市・桜川市の3市で、県西総合公園内への野球場建設の要望書を県に提出したとのことだった。現在、新年度予算編成に向け、調査費計上など何か策は講じられているのか。現県営球場が老朽化し、土浦市が移築を要望しているというが、以前、旧下館市時代には、県に対し移築の陳情をした経緯がある。ここで市長の熱意を県に示し、子供たちの健全な育成のため、県営球場の移築に力を発揮してほしい。

**【答弁】**

**【土木部長】** ご指摘のとおり3市で県に要望書を提出

し、県西地域総合振興協議会にも要望書を提出している。また、平成19年には県が県西総合公園の視察を行っている。今後はさらに強く要望してまいりたい。  
**【教育次長】** 県教育委員会による

と、現県営球場は老朽化が進み、整備については中長期的な課題として対応していくとのことである。

**【市長】** 平成21年には、一般会計だけでも市債の残高が合併当初から44億円減る予定であり、最大の経費削減は人件費にある。これらが、将来の新しい投資資金になるだろうと考えており、ご理解賜りたい。



市野球場

**稲荷町通りで定期的なイベント開催を**

**【質問】**

**【真次議員】** 去る11月8日に

県道稲荷町線の竣工を記念し、式典とイベントが行われ、多くの人が集まった。駅前通りとしてきれいに完成した今、毎月稲荷町通りを利用したイベントを行うてはどうか。例えば、歩行者天国や路上ライブの大会、本市の農産物を販売する朝市広場通り、高齢者が集まって悩みを話せるコミュ



しもだてアートフェスタ

二テイの場所などさまざまな企画が考えられる。これにより経済効果が生まれ、かつてのようなにぎわいが戻ると思うが、そのような施策を考えているか尋ねたい。

**【答弁】** 稲荷町まちづくり委員会が中心となり、板谷波山氏、森田茂氏を主題とした「しもだてアートフェスタ」として開催された。駅前通りについては、市内商工会の後継者によるルネッサンス委員会が、稲荷町通りを仮称「波山通り」と命名し、ストーリー性を持ったイベントを開催した。今後もまちづくり委員会では、継続的にこのようなイベントを開催していきたいとのことである。また、稲荷町通りにおいて、「わっしょい市」が年6回開催されているが、これを1回でもふやせるような方向づけをしてまいりたい。

**特別委員会からの提言で  
スピカビルをどうするか**

**質問**

**【水柿議員】** 前定例会において、市財政等健全化調査特別委員会から調査結果の報告が

され、今後の課題の一つとしてスピカビルが提起された。同ビルは土地・建物のほとんどが市の所有で、行政フロアと商業フロアからなる複合施設だ。商業フロアにおいては、テナントが少なく、大きなフロアも利用されていない状態であり、このままではビルの維持管理経費の負担がふえていく。このようなことから、委員会ではビル売却という意見が大勢を占めたが、今後スピカビルについてどう考えていくのか尋ねたい。

**答弁**

**【土木部長】** スピカビルは、駅前のシンボルの存在であり、マイカル撤退後、当時、中心市街地活性化の問題や健全なる都市機能保持の観点から国の補助金を導入し、市が購入した経過がある。これらを踏まえ、活性化という観点から、何が適切かを検討

しなければならぬと考えている。現在の空床状態については、5月にスピカビル運営会議を立ち上げ、諸問題についての検討に入っている。このビルは、民間との複合ビ

ルであるため、慎重に検討をしてまいりたいと考えているのでご理解賜りたい。



スピカビル1階

**14回の妊婦健診への  
公費負担は**

**質問**

**【尾木議員】** 妊婦健診は、定期的な受診により、切迫

流産や早産などの早期治療につながり、安全な出産をするために不可欠である。健診は、出産までに14回程度が望ましいとされているが、健康保険は適用されない。現在、本市でも5回の公費負担をしているが、このたび、国は14回までの無料化を追加経済対策の中に盛り込んだ。そこで、本市では14回の公費負担についてどう考えるか。また、国と自治体で2分の1ずつの負担となるが、どれだけか。また、国と自治体で2分の1の負担が必要となるか尋ねたい。

**答弁**

**【健康増進部長】** 本市の妊婦健診については、その

重要性を考慮し、健康な妊娠・出産に必要な5回の公費負担を今年度から実施している。14回の公費負担については、現在国の2次補正予算の提出が見送られていることから、本市としては、今後の国・県の動向を踏まえ、対応してまいりたい。また、14回にした場合の財政負担は、地方は2分の1の負担になることから試算すると、2千万円程度が新たな財政負担となる。しかし、財政が厳しい状況であり、市の一般財源で実施することは、国・県の状況を踏まえなければならぬと考えているので、ご理解賜りたい。



元気な赤ちゃん誕生

**地方の薬学系大学の  
厳しい現状をどう考えるか**

**質問**

**【内田議員】** 薬科大・薬学部は、小泉改革の規制緩和

により、46校体制から72校体制になった。これにより、薬剤師は



平成20年に約10万人、平成40年には13万人が供給過剰になるといいます。また、今春の薬科大・薬学部の入学状況は、18校が定員割れで、特に新設大学の定員割れが目立ち、地方大学は苦戦しているという。このような中、財政が厳しい本市が、つくば薬科大学に借金をして2億円を出すのはいかがなものか。以前、市長は自治体が金を出す時代ではないと言っていた。薬科大学がおかれた現状を含めて考えを伺いたい。



開校が待たれるつくば薬科大学

**答弁**

【市長】 大学誘致は前々から市民の夢である。「地方自治体が競ってお金を出す時代ではない」という言葉は、開設者や議員、我々に対する予防線としての言葉とご理解賜りたい。また、私立大学の設置に対する合併特例債の活用は、全国でも初めてである。しかし、本県の薬学部志望の学生が県外大学に進む中、今後、薬剤

**市民病院の今後は**

師がチーム医療の一員として活躍が期待される時代を迎え、つくば薬科大学の役割は重要性を増してくと考える。これは新しい文化のスタートであり、さまざまな活性化につながるかと考えている。

**質問**

【藤川議員】 市民病院について尋ねたい。①改革プランにおける確保ベッド数は。②市民病院の民間移譲が表明されたが、医師等には説明されていない。この話を聞いた医師が残ってもらえる見通しはあるのか。③先日、真壁医師会と自治医大の懇談会で、自治医大との連携の話が出たという。民間に移譲するよりは、自治医大の関連病院として再建できれば、これほど安心なことはない。このことについて可能性があるか。

**答弁**

【市民病院事務部長】 ①民営化との判断により、許可病床数173床を確保されるような医療機関を選定してまいりたい。②これまでの経緯の中で、医師や職員にはその都度説明をしており、民営化の方向性については理解を得ていると考えている。今後、医師にも説明し、残留の願いをしてまいりたい。③地元医師

会や近隣の自治医大、筑波大等との連携が必要であると考えている。【市長】 国立病院が独立行政法人化となり、地方自治体の病院も指定管理者制度等に移行している。そのいづれも、国・自治体からの支援金がなければ赤字になってしまいう状況である。そのような中、市民病院の民営化という決断をしたものでありご理解賜りたい。



市民病院の常勤医師

**市街化区域の雨水処理の促進で定住人口の増を**

**質問**

【外山議員】 本市の人口増のためには、定住の促進が最大の要素であり、人口がふえれば税収の増やまちの活性化につながるが、そのためにはインフラ整備が必要だ。しかし、市街地の雨水処理に関しては、土地改良区の協力が必要であり、既存の用水路に接続できずにしみどぶのままの所や宅地開発できない所もある。ま

た、平成22年度から旧3町の市街地には都市計画税が賦課されるが、都市計画税をいたしながら、雨水を排水できないような状況では宅地開発はできない。このままでは、人口がふえるどころか、他に流出することも考えられる。この雨水対策についてどう対応しようとしているのか尋ねたい。

**答弁**

【土木部長】 雨水排水の側溝が整備されていない地区については、状況等を調査して関係部署と協議し、工事を進めてまいりたい。しかし、既存のもの、また新たな側溝の整備に当たっては、現況流末水路の断面が小さいため排水能力を超えてしまう箇所もある。今後、特に市街化区域においては、そのような問題も解決しながら、関係機関と協議し、事業を進めてまいりたい。



市街地（協和地区）

# 議会日誌

## 10月

- 22日 茨城県市議会議長会議員研修会
- 27日 筑西広域市町村圏事務組合議会第2回定例会
- 28日 茨城県市議会議長会定例会

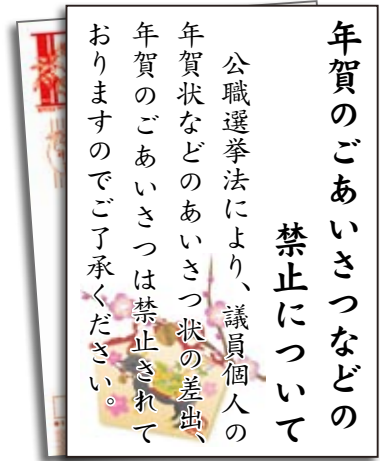
## 11月

- 5日 県西市議会議長会定例会
- 10日 第4回県西総合病院組合議会臨時会
- 13日～14日 友好都市岡山県高梁市親善交流訪問

- 28日 議会運営委員会

## 12月

- 3日～15日 筑西市議会第4回定例会
  - 5日 茨城県市議会議長会臨時会
  - 19日 広報特別委員会
- ## 1月
- 13日 広報特別委員会
  - 21日 第1回県西総合病院組合議会臨時会



## 行政視察来市

本市の行財政調査のため、次の議員が来庁されました。

- 10月23日 大分県日出町議会（6名）
- ▼環境センターについて
- 11月13日 北海道釧路町議会（9名）
- ▼農協施設の福祉などへの複合活用について

○12月24日

栃木県大平町議会（14名）

▼市町村合併について

○1月15日

栃木県岩舟町議会（4名）

▼市町村合併について



## 編集後記

去る11月13日・14日に、友好都市を結んでいる高梁市へ、正副議長をはじめ市議会議員6名が親善交流のため訪問しました。高梁市はまちの活性化として、学園交流都市づくりを推進しています。市内にある大学を核として、地域との連携や市民と学生の交流など、地域づくりの参加活動を支援しています。高梁市においては、市役所の表敬訪問や両市の縁組のきっかけとなった水谷家の菩提寺である定林寺への墓参、高梁市議会議員等との交流会、市内の文化交流館等の視察を行いました。交流会では、活発な意見交換をすることができ、意義深い研修ができました。今後も交流を通し、両市のきずなをより一層深めていきたいと思えます。

議会だよりは、議会の様子を正確にお伝えできるように編集しております。よりよいものになりますよう、市民の皆様のご意見をお待ちしております。

【広報特別委員会】

委員長	須藤 茂
副委員長	水越 照子
委員	吉原 利勇
	宮崎 晋
	百目鬼 晋
	堀江 健一
	水柿 一俊
	外山 壽彦
	加茂 幸恵
	榎戸 甲子夫
	片平 忠行

筑西市議会事務局  
筑西市下中山732-1  
☎24-2111（内372）  
ホムページ：http://www.city.chikusei.lg.jp/gikai/

あなたも傍聴してみませんか

次の定例会は  
**3月4日**  
に開会の予定です。

本会議は10時からです。  
議会の放映は、市役所本庁舎  
1階エントランスホールと4階  
議場前ホールでご覧になれます。